

電子国土基本図（小縮尺の基本図を含む。）は、デジタル時代に対応した、新たな国土の基本情報であり、地形図・地勢図等の基データとして、また電子国土Webの地図として利用されているほか、様々な電子地図の背景図・ベースマップとして用いられている。

電子国土基本図が今後一層利用しやすいものとなるよう、利用者からの意見を踏まえ、取得形態、表現形態、提供形態等について検討を行う。

2万5千分の1地形図(印刷図)



小縮尺地図 (20万分の1地勢図等)



平成19年
地理空間情報活用推進
基本法制定・施行

→ デジタルの地図
データとしての
活用を促進



取得形態 (デジタル地図データ)

電子国土
基本図
(基本情報)



付属
情報

基本情報と
重ね合わせ
可能

表現形態 概略の表現



記号化した表現



真位置による表現



提供形態

電子国土Web地図



電子地形図

画像データ



印刷図



デジタル(ベクトル)地図データ



表現の内容等については、従来の紙の地形図の表現を原点としつつ、よりよい表現となるよう改良を加え、さらに進化していく方向での取り組みを進める。

電子国土基本図の提供については、デジタルデータ(ベクトル地図データ)を提供し、また、出力範囲・表現方法の選択機能等を搭載し、進化させた電子地形図(画像データ)及びその出力図(紙地図)としても提供するとともに、電子国土Webシステムの地図としても提供する。

ベクトルデータ

- ・国土の基本現況情報として全国を統一的に整備し、維持・更新。
- ・真位置のデータ、基本的な属性データの他、縮尺に応じわかりやすい表現とするための抽出・転移等のデータも整備。
- ・ユーザーニーズに対応し、国土地理院保有データの活用等により、GIS等で重ね合わせできるデータを付属情報として別途整備。
- ・利用者が使いたい地理空間情報を容易に選択できる環境を実現するため、様々な情報をパッケージ化して提供
- ・GIS等における処理・分析等で使いやすい形態で提供。

電子国土Webシステムの地図

- ・最新のベクトルデータを用いて、小縮尺から大縮尺まで幅広い縮尺でWeb上で閲覧する地図群で構成。
- ・縮尺に応じて表示項目・図式の取捨選択などを行い、ブラウザ上でのわかりやすい表現を確保する。
- ・電子国土基本図に主題情報を重ね合わせ表示する機能を持たせる。

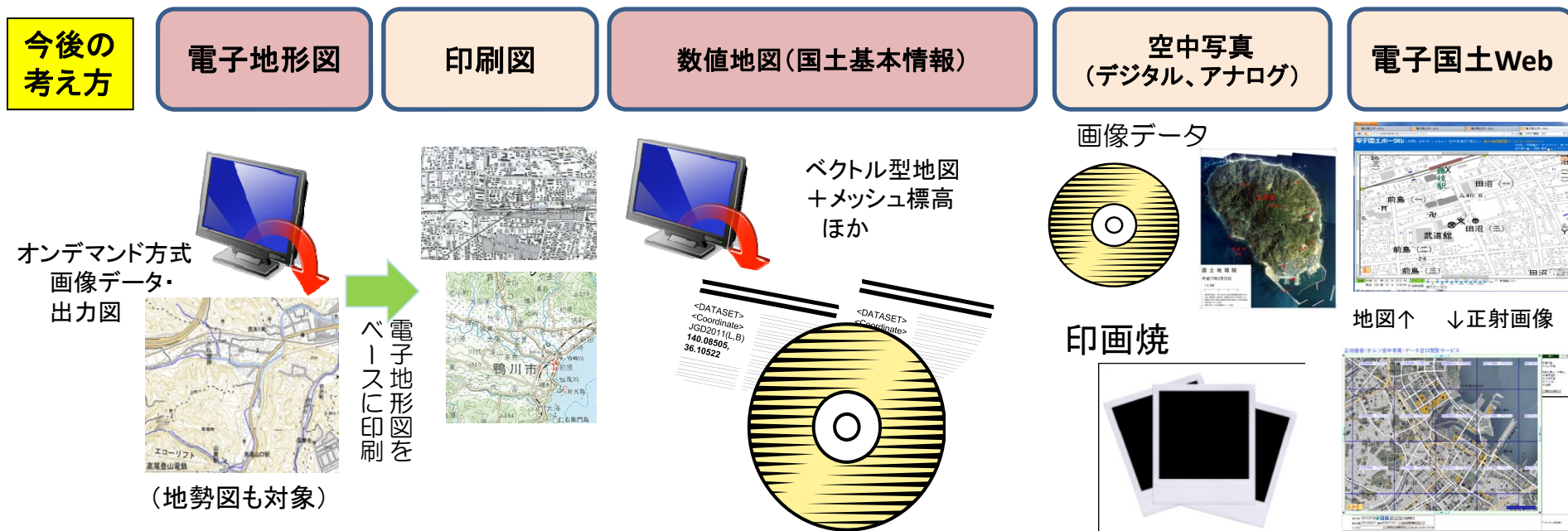
電子地形図(画像データ及びその出力図)

- ・最新のベクトルデータ及び主題情報を基に作成した縮尺2万5千分の1の画像データと、それを紙に出力した地図。今後、地勢図と同等の縮尺20万分の1レベルにも対応。
- ・従来の印刷図と同等に、印刷されてわかりやすい表現を確保する。
- ・範囲を選択する機能、重ね合わせる主題項目を選択する機能、取捨選択、表現方法の選択ができる機能等をもたせる。
- ・出力図について地図販売店等で提供できるよう検討

印刷図

- ・従来の地形図等について、電子地形図から印刷して刊行。
- ・従来の地形図等の表現方法に加え、さらに見やすい表現方法をした地図についても検討。

これまでの提供物との関係



国土地理院から利用者にとって使いやすい様々な形態で提供するとともに、それらを活用する民間サービス事業者等のニーズも踏まえて使いやすい形態で提供することによって、国土地理院が提供する地理空間情報のさらなる活用を推進する。

